

AXIS A4130-E Reader

インストール



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

デバイスのインストールビデオ

配線

表に従って、リーダーからドアコントローラーに配線します。

| | |
|--------------|--------------------------------------|
| AXIS A4130-E | Axis ドアコントローラーまたはその他のOSDP対応コントロールパネル |
| B | B |
| A | A |
| + | 12 V |
| - | - |

デバイスを構成する


デバイスはすぐに利用可能な標準的なOSDPリーダーとして動作します。機能や設定を設定するには、AXIS Camera Station Secure Entryなどのアクセス管理ソフトウェアを使用します。

暗号化通信

OSDPセキュアチャンネル

AXIS Camera Station Secure Entryは、OSDP (Open Supervised Device Protocol) セキュアチャンネルに対応し、コントローラーとAxisリーダー間の回線暗号化をアクティブにします。

システム全体でOSDPセキュアチャンネルをオンにするには:

1. [Configuration > Access control > Encrypted communication (設定 > アクセスコントロール > 暗号化通信)] に移動します。
2. メインの暗号化キーを入力し、[OK] をクリックします。
3. [OSDP Secure Channel (OSDPセキュアチャンネル)] をオンにします。このオプションは、メインの暗号化キーを入力した後にのみ使用できます。
4. デフォルトでは、メインの暗号化キーによってOSDPセキュアチャンネルキーが生成されます。OSDPセキュアチャンネルキーを手動で設定するには:
 - 4.1. [OSDP Secure Channel (OSDPセキュアチャンネル)]で、 をクリックします。
 - 4.2. [Use main encryption key to generate OSDP Secure Channel key (メイン暗号化キーを使用してOSDPセキュアチャンネルキーを生成する)] をクリアします。
 - 4.3. OSDPセキュアチャンネルキーを入力し、[OK] をクリックします。

特定のリーダーでOSDPセキュアチャンネルをオンまたはオフにする方法については、ドアとゾーンを参照してください。

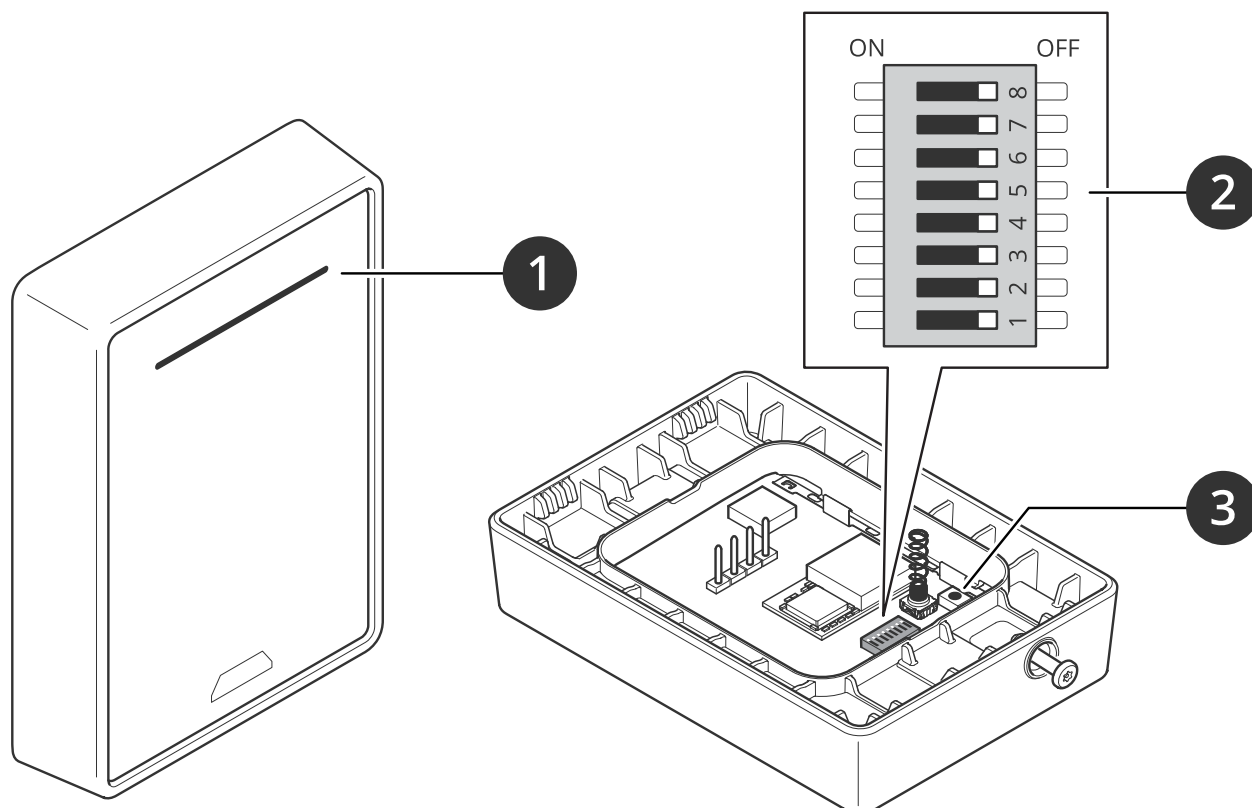
注

アクセスコントロールユニット、ホスト、またはパネルがOSDPセキュアチャンネルに対応している場合は、リーダーデバイスで有効にして通信セキュリティを強化することをお勧めします。セキュアチャンネルを有効にするには、リーダーデバイスのDIP #6をオンにします。

初期設定時に暗号化キーがプレーンテキスト形式で送信されるため、このプロセス中はすべてのRS485配線およびデバイスを監視する必要があります。

仕様

製品概要

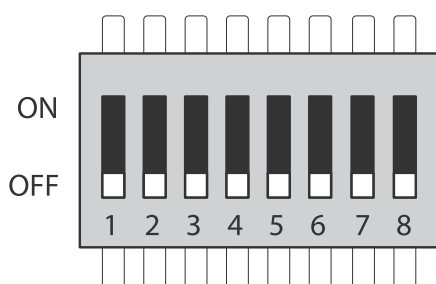


- 1 リーダーインジケーターストライプ
- 2 DIPスイッチ
- 3 コントロールボタン

リーダーインジケーターストライプ

| 状態 | 挙動 |
|-----------------------|--|
| オフライン (コントローラーの接続待機中) | 3秒ごとに赤と黄色が点滅します。 |
| オンライン | OSDP仕様バージョン2.2.2に従ってOSDP LED コマンドに応答します。 |

DIPスイッチ



| DIPスイッチ | デフォルト設定 | 機能 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---------|--|----------------|-------|----------------|----|----|---|----|----|---|----|----|---|----|----|---|
| 1 | オフ | <table border="1"> <thead> <tr> <th>スイッチ1</th> <th>スイッチ2</th> <th>Address (アドレス)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オフ</td> <td>オフ</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>オフ</td> <td>オン</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>オン</td> <td>オフ</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>オン</td> <td>オン</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> | スイッチ1 | スイッチ2 | Address (アドレス) | オフ | オフ | 0 | オフ | オン | 2 | オン | オフ | 1 | オン | オン | 3 |
| スイッチ1 | スイッチ2 | | Address (アドレス) | | | | | | | | | | | | | | |
| オフ | オフ | | 0 | | | | | | | | | | | | | | |
| オフ | オン | | 2 | | | | | | | | | | | | | | |
| オン | オフ | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| オン | オン | 3 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | オフ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | オフ | RS485 120Ωの終端抵抗。オフ = 無効。OSDPラインの最後のリーダーをオンにします。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | オフ | ブザー制御。オフ = ブザーの音が鳴る。オン = ブザーの音が鳴らない。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | オフ | 暗号化通信 (セキュアチャンネル)。オフ = 無効。オン = 有効。 セキュアチャンネル機能は、ハードウェアまたはAXIS Camera Station Proで有効にすることができます。DIPスイッチ6をオンしてハードウェアを有効にすると、暗号化通信が強制されます。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |

ボタン

コントロールボタン

コントロールボタンは、以下の用途で使われます。

- 製品を工場出荷時の設定にリセットする。工場出荷時の設定にリセットする, on page 6を参照してください。

ボーレート

デフォルトのボーレートは9600です。変更するには、コマンド `osdp_COMSET` を使います。

トラブルシューティング

工場出荷時の設定にリセットする



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

1. バックプレートからデバイスを取り外します。これにより、デバイスが電源から切断されます。
2. バックプレートからコネクタを取り外します。
3. コントロールボタンを押しながら、鋭利でない器具を使用してターミナルブロックをデバイスのピンに接続することで、デバイスが電源に再接続されます。製品概要, on page 4を参照してください。電源に再接続されると、短いビープ音が鳴ります。これは、コントロールボタンが押されていることを示します。
4. そのままコントロールボタンを数秒間押し続けます。
5. コントロールボタンを放します。再びビープ音が鳴ります。これは、デバイスが工場出荷時の設定にリセットされたことを示します。
6. ターミナルブロックをバックプレートの所定位置に置きます。
7. デバイスをバックプレートに取り付け、ユニットのふたをゆっくりと閉じます。

重要

コントロールボタンを約60秒間長押しすると、ファームウェアが消去されます。新しいファームウェアを再インストールするには、AXIS Access Controllerが必要です。詳細については、*Upgrade readers* (リーダーのアップグレード)を参照してください。

T10235698_ja

2026-03 (M2.2)

© 2026 Axis Communications AB